

2018

8

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

QSK

# はじめよう！



## CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
日常風景／避難訓練／法人名変更について	
かがやきクラブにより	P 3
現場で働くスタッフの声	P 4
4月～6月 活動実績	P 5
移動サービス運転者講習会開催案内	P 5
4月～6月 会の動き	P 6
ふるさと納税始めています	P 6
来ん家／活木活木森ネットワーク	P 7
グループ事業所案内	P 8
ICT サポートセンターより	P 8



毎日暑い日が続き行水が日課！(まちの子ども保育園)



市民生活支援センター  
ふくしの家

## 介護保険は「地域づくり」へ

各市町で、生活支援体制整備事業がゆるやかに進められています。その名のとおり各々の地域で「生活支援の体制を整備する事業」ということになります。住民を含めた多様な主体が参加し、目指す地域について考え方の共有（規範的統合）が必要とされています。

介護保険の当初のねらいから外れ、給付による「サービスの充実」に邁進した歴史はピークを迎え、社会保障財源の不足や人口減少社会の到来の中、社会全体が従来の仕組みに慣れてしまつた弊害は、新しい仕組みである「生活支援体制整備事業」や「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、より強く現れています。

団塊の世代が75歳を迎える2025年の問題は、生活支援の不足が本格的に始まると言い換えても良いのです。給付によるヘルパーが対応できない、日常生活のちょっととした生活支援が高齢者の数以上に増えると言われます。また、あまりに深刻な人口の減少と、財源の問題は、お金をかけずにこれまでの制度を維持し、地域包括ケアや共生社会というより高度な目標に向かうことを意味します。

住民啓発から、小地域毎の話し合いの場（協議体）、地域自らの自助互助の取組や、介護予防・日常生活支援体制整備事業などを活用した新たな介護保険事業も始まっています。通いの場づくりや、住民互助による生活支援の仕組みづくり、配食や移動サービスなど、これまで給付サービスではできなかつた支援を、地域の実情に応じ、介護保険財源等を活用しながら実施していくものです。これら支援は、介護保険が目標とする「自立支援」の基盤を作るものとして、将来、介護保険事業のウエイトを占めるものとして是非関心を寄せていただきたいものです。

人が増える中では思いもしなかつたことが、今後私たちの身の回りに起きてきます。財源や人がいないということは深刻ではありますが、医療や介護の発想に、地域の中で生き死んでいくという「地域づくり」の議論にようやく辿り着いたことを評価し、次の世代の課題に向けた体制づくりを進めたいものです。

代表  
江口 陽介



まちの子ども保育園

私たち大人が子どもだった頃の夏と、ここ数年の夏は気温や日差しが全く違います。子どもから高齢者まで熱中症対策が必要です。

- \*水分をこまめにとろう
- \*塩分を程よく取ろう
- \*睡眠環境を快適に保とう
- \*丈夫な体をつくろう



平成30年6月28日からの台風7号及び前線等による西日本を中心に降り続いた豪雨の被害にあわれた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

私たち佐賀市もこれまで経験したことのない降り続く大雨と嘉瀬川の水位上昇で不安な一夜を過ごしました。

私たちにもできること。募金やチャリティーイベントへの参加や、被災地へ出向き頑張って営業されているお店を利用する。

防災意識を持ち日頃の準備を再確認しましょう！



まちのホーム循誘



7月22日はまちのホーム循誘やケアホームのお隣さんである牛嶋天満宮の夏祭りでした。子どもお御輿や「茅の輪くぐり」など見学しました。また別の日には葡萄の木グリーンクリニックのスタッフNさんと地元で活躍するシンガーソングライター吉武愛子さんのギターと歌の演奏会が開かれ大盛況でした。吉武さんは佐賀名物を盛り込んだ歌に合わせて親子で体操する「さがんストレッチ」の制作など活動されています。まちのホーム医大前でも歌ってくださいました。ありがとうございます！



## かがやきクラブだより

2018. 夏

夏休みに手形アートのイベントを開催！カニか金魚を選んで作ってもらいました。季節感の出るような物を貼って、海や金魚鉢をデコレーションしました。子ども達も楽しかったようです。保護者さんからも喜んでいただけました。

フルーチェ作りのイベントを開催！子ども達には、フルーツを切る係、牛乳を入れる係、混ぜる係と、係りを分けて作りました。作ったフルーチェに、カットしたフルーツとお菓子をトッピングして食べました。

プール遊びもしています。水鉄砲等で、子ども達も、スタッフもびしょ濡れで楽しみました。

夏休み期間中は、飽きないようにプールのない日に週1でイベントを企画しています！(^^)! (責任者 奥川)



## 法人名の変更について

認定NPO法人の認証を平成27年3月に受け、法人名を平成30年7月2日付けで「認定特定非営利活動法人市民生活支援センターふくしの家」と正式に改めました。既に変更に伴う関係機関への届出も済んでおります。

少子高齢化や人口減少等、社会の構造が大きく変化していく中、新しい公を担うNPOの役割は今後更に重要になっていきます。今後、10年20年と「認定」に恥じないNPO活動を心がけてまいります。新しい法人名及び今後の福祉活動に引き続き皆様方のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家

理事長 江口陽介



## 合同避難訓練 H30年6月25日

まちのホーム循誘・グループホームじゅんゆう寮・ケアホームふくしの家

今回はホーチキ佐賀から1名の協力を得て利用者様11名スタッフ9名、漏電による出火想定での避難訓練を実施しました。

### <気付き・反省>

利用者の居室からの出火のため第一に当事者を避難をさせる事が大切でその後職員が連携し手順通りに火元に近い利用者から避難させなければならない。車椅子使用の方が半数なので1ヶ所のスロープだけでは混雑してスムーズに誘導できなかった。歩行できる方は玄関の階段を降りたり車椅子でも軽量者は東側の勝手口を使うなど臨機応変さも必要でした。歩行者も精神的に焦りがあったら転倒のリスクも高くなり怪我の危険性も増すので安全な所まで寄り添って誘導する必要があると思いました。A棟の利用者はB棟よりも余裕があるので玄関の階段や西側の非常口を利用

しスロープはB棟利用者も使用する。2階のグループホーム利用者は絶対にエレベーターを使用せず西側の非常階段を使うが2名の歩行困難者は一人でおりようとせず階段の上で救援者が来るまで待つよう指示しました。避難誘導は火災時だけでなく地震やあらゆる災害時にも適応するため、利用者の生命を第一に日頃の誘導の経路、手順などを常に念頭に持ち訓練を重ねる事が大切だと実感しました。

(防火管理者 副島)



ゆめくれよん+に入社して

ゆめくれよん+ 古賀 恵美

私は、昨年の10月からゆめくれよん+のスタッフとして働いています。

この職場に来るまでは、障害者の方と全くふれあう機会がなかったので、コミュニケーションの取り方に不安がありました。実際に勤務してみるとボランティアさんも受講者さんも気さくに話しかけていただいたおかげで、勤務してもうすぐ1年が経とうとしています。

今一番の課題は、よく早口で話してしまいますので、ゆっくり話せるように努力したいです。今後ともよろしくお願ひいたします。



## チャレンジドクラブでは、夏休みに＊ステンシルを使ってうちわ作りをしました。

うちわの図柄には、子どもたちが好きな妖怪ウォッчиやピカチュウ、夏の風物詩のスイカ、花火、かき氷などを描き、それぞれ個性のあるうちわが出来上がりました。



### ステンシル

絵や文字を切り抜いたプレートを描きたいもの（うちわなど）にあて、その上から好きな色の絵具をスポンジでポンポンと叩いて色付けする

されるおじいちゃん、おばあちゃんと談話したり、ゲームをしたり歌を歌つたりしています。昔話になると自分の事を一生懸命話されます。又ト  
イレ介助で失便された時、申し訳なさそうに「ごめんね」「ありがとう」と言われます。失便については、私自身、慣れるまでに三ヶ月かかりました。息するのが苦しい程でした。先輩方は「あら、便が出て良かつたね」と言われこの温度差に、驚きました。さすが「プロだな」と思いました。自分自身が穏やかな介護をすると相手も穏やかに成られ介助する側の感情が直ぐ相手に伝わり気付かされる時もあります。私も徐々に慣れていき、人間的にも成長させてくれる職場でもあり、これからも楽しく、この仕事に携わっていきたいと思います。



まちのホーム医大前

「無宗教の別れの会には非おいで、ノースリーブでさ、夏に死ぬから」。10年前、がんで亡くなった佐賀市の歌人中山陽右さんが自身の「終わり支度」を考えていたころ、さらりと詠んだ一首◆生老病死。人は生きいくことも難しいが「死」をどうやって受け入れるかはもつと難しい。とても中山さんみたいに達観の境地とはいかない。それが普通である。それでも、今や2人に1人ががんを患う時代において、がんとどう向き合っていくのか、その向かい方で人生の達成感に違いがあるかもしれない。

# 会の実績

**訪問介護**

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
介護輸送	975	1,075	1,026	643	690	719
身体・生活	121	127	103	122	125	144

**小規模多機能型居宅介護**

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
開所日数	30	31	30	30	31	30
実利用人数	24	23	25	30	30	29

**住宅型有料老人ホーム****グループホーム(共同生活援助)**

## ふくしの家 活動 実績 4月～6月

	ケアホームふくしの家			ふくしの家	4月	5月	6月	ふくしの家	4月	5月	6月
	4月	5月	6月								
開所日数	30	31	30	開所日数	30	31	30	実利用人数	3	2	3
実利用人数	22	22	22	実利用人数	6	6	6	延回数	23	20	18

**特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)**

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ	4月	5月	6月	4月	5月	6月	
	4月	5月	6月								
開所日数	23	23	24	開所日数	23	23	24	実利用人数	192	200	191
実利用人数	79	88	82	実利用人数	192	200	191				

**脳いきいき健康塾(佐賀市委託事業)**

	大和教室		
	4月	5月	6月
開所日数			
実利用人数			35

**障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)**

	ゆめくれよん+		
	4月	5月	6月
ボランティア派遣	18	17	16
パソコン教室	13	6	12
ボランティア養成	3	0	10
ボランティアスキルアップ勉強会	0	9	5
ふくしの家パソコン事業	8	13	13

**子育て支援事業**

	まちの子ども保育園		
	4月	5月	6月
開所日数	20	21	21
児童発達支援	83	83	79
開所日数	24	24	26
小規模保育	90	130	137

**ささえあい(循誘地区)**

	ふくしの家		
	4月	5月	6月
買い物	1	0	0
その他	0	0	0

**サロン(紺屋町と協働)**

	来ん家		
	4月	5月	6月
体操教室	45	33	42
買い物サロン他	7		7
実利用人数	52	33	49

6月10日(日)、2018年度佐賀県地域共生ステーション連絡会総会が開催されました(56名出席)。記念行事として、佐賀県健康福祉部福祉課課長の五郎川展弘氏からご挨拶をいただいた後、「地域共生社会を見据えた介護保険制度の動向と事業者の役割」と題し、厚生労働省老健局総務課課長補佐の石井義恭様よりご講演いただきました。当団は、佐賀県から、子ども食堂等、子どもを対象にしたサービスについて、「子どもの居場所づくり」に係る開設補助事業を6月4日から募集を開始するという紹介や、公益財団法人佐賀未来創造基金の山田理事長から、ふるさと納税を活用した「子どもの居場所づくり」に係る助成事業についても紹介されました。

佐地共連総会及び記念講演会の様子  
(ほほえみ館4F 視聴覚室)

次回  
移動サービス認定運転者講習会  
(国交省大臣認定)  
ふくしの家 HPにて  
次回開催日をご案内します。

<http://www.fukushinoie.jp>

0952-36-6865



## 会の動き

- 6 医大南睦会 会長来訪 グリーンクリニック挨拶訪問  
 9 小規模多機能型居宅介護事業者説明会／メートプラザ 循誘まち協福祉部会／循誘公民館  
 10 訪問介護事業者説明会／佐賀市文化会館  
 18 ふくしの家事務局会議 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会  
 20 佐賀市生活支援コーディネーター連絡会研修会 三菱UFJ 岩名氏講演／ほほえみ館  
 佐賀市第1層協議体オブザーバー／佐賀市役所  
 23 みやき町生活支援体制整備事業打合せ／県庁地域包括支援推進室  
 佐賀市高齢福祉課来訪（脳いきいき健康塾の件）  
 24 佐賀市生活支援コーディネーター連絡会／商工ビル 25 まちのホーム循誘運営会議  
 26 さが移動ネット主催福祉有償運送に関する勉強会 28-29 移動サービス認定運転者講習会



- 8 循誘まち協福祉部会／循誘公民館 10-11 さわやか県レベル担当者会議／両国  
 14 みやき町支え合いの地域づくり準備会講師／三根庁舎  
 16 みやき町支え合いの地域づくり準備会講師／こすもす館  
 18 みやき町支え合いの地域づくり準備会講師／中原庁舎  
 地域包括ケア推進アドバイザー・生活支援体制整備事業担当／神埼（語ろう会）  
 22 佐賀市生活支援コーディネーター連絡会 循誘校区まち協総会／循誘公民館  
 23 ふくしの家事務局会議 ふくしの家定例総会  
 地域包括ケア推進アドバイザー・生活支援体制整備事業担当／千代田（語ろう会）  
 24 地域包括ケア推進アドバイザー・生活支援体制整備事業担当／江北町  
 25 生活支援体制整備打合せ／県庁  
 地域包括ケア推進アドバイザー・生活支援支援体制整備事業担当／脊振（語ろう会）  
 28 さわやか九州1ブロック活動／那覇  
 30 まちのホーム循誘地域支え合い会議 まちのホーム循誘運営会議



- 1 地域包括ケア推進アドバイザー／みやき町  
 2-3 さわやか九州1ブロック新地域担当会議／行橋市  
 6 江北町講話 8 佐賀県SC連絡会 9 佐地共連記念講演講師との意見交換会  
 10 佐賀県地域共生ステーション連絡会総会・記念講演／ほほえみ館  
 18 みやき町三根校区体制整備事業アドバイザー  
 19 佐賀市SC連絡会講師「協議体について」 20 認知症介護実践者研修講師  
 22 みやき町北茂安校区体制整備事業アドバイザー  
 23 全国移動サービスネットワーク理事会総会及び記念講演司会／東京  
 24 佐賀県子ども子育て支援会／ふくしの家会議室  
 25 平成30年度介護サービス事業者に係る集団指導（訪問・小多機） 総合事業講話／東川登 循誘運営会議  
 26 第1回佐賀県地域公共交通活性化会議／はがくれ 27 江北町第1層協議体・講師  
 28 医大南睦会勉強会・講師 さが福祉移動サービスネットワーク総会 29 神埼市脊振地区「語ろう会」



あなたの意志をふるさとに ふるさとチョイス  
<https://www.furusato-tax.jp>

TOP → 地域でチョイス → 佐賀県の自治体 → NPO支援 → ふくしの家  
 こちらでの応援も受け付けております。よろしくお願ひ致します。

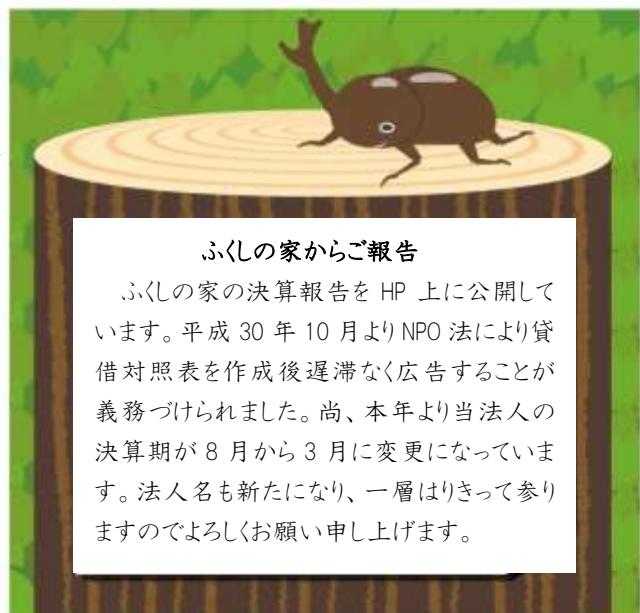


**まちの居場所  
来ん家**

出会い・つながり・支え合い  
～あなたが大切な人が大切この社会～

体操教室は毎週金曜日、買い物サロンは月に1回のお楽しみとしてちょっと遠くまで出かけています。今後、日常的な買い物支援を週1回できればと思っています。

ご近所さんの輪を広げましょう♪ 心穏やかに ご機嫌で！！

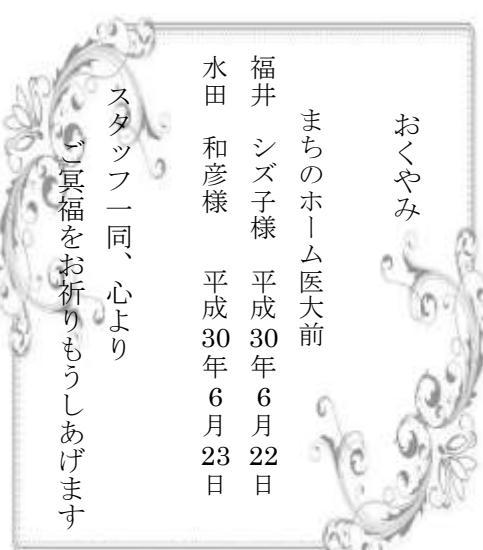


小さなことかもしれません。でも、何もないよりも何か行動を起こすことが大切です。森林は、植樹しても元の森林に戻すまでは、何年も何十年もかかります。でも、将来を担う子供たちのためにも、緑のある地球を残していくましょう。

6 森林伐採された地域の方々に、できるかぎりの資金援助をしてあげること。

7 家やマンション、アパートを建てるときには、高くても国内産の木材を使うこと。

8 比較的に、成長の早いユーリカリを植樹したり、森林を増やす運動に積極的に参加すること。



特定非営利活動法人  
**活木活木(いきいき)森ネットワーク**

## 事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】  
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-37-5102
- まちのホーム循誘【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】  
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】  
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぶりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】  
佐賀市大財6丁目4番4-66号／電話0952-22-3744
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンター「ゆめくれよん+」【佐賀市委託事業】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F／電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局  
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局／佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局  
脳いきいき健康塾【佐賀市一次予防事業】  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジドクラブ」／電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」／電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】／総合福祉ビルハーモニー窓口  
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F／電話0952-36-6113
- まちの居場所来ん家  
佐賀市紺屋町1番14号／電話0952-36-6865



かんこだって  
熱中症になるんだワン



暑中お見舞い  
申し上げます



まだまだ暑い日が続きますから、  
どうかご自愛のほどお祈り申し上げます。  
今後ともよろしくおねがい申し上げます。  
平成三十年、謹賀

**佐賀県障害者ICTサポートセンター「ゆめくれよん+」**

**☎ 0952-36-6977**

## パソコンを活用してイキイキライフ！！



ゆめくれよん+では施設派遣を行っています。今回は武雄市と佐賀市内へ。それぞれ自分たちの好みの色を塗って作成した図をハガキのイラストにしました。

次回は「うちわ作り」に挑戦です！

★ボランティアさんも募集中!!

障がいのある方のパソコンサポートしてみませんか？

# はじめよう！8月号

【編集／印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F

TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail [fukusinoie@world.ocn.ne.jp](mailto:fukusinoie@world.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>



【発行】九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡県福岡市博多区綱場町1番17号 福岡パーキングビル4F

TEL (092) 753-9722 FAX (092) 753-9723 【定価100円】

【購読料は会費等に含む】

※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。